

生活道路の除排雪作業の 試験施工について

令和7年1月17日（金）
札幌市建設局雪対策室

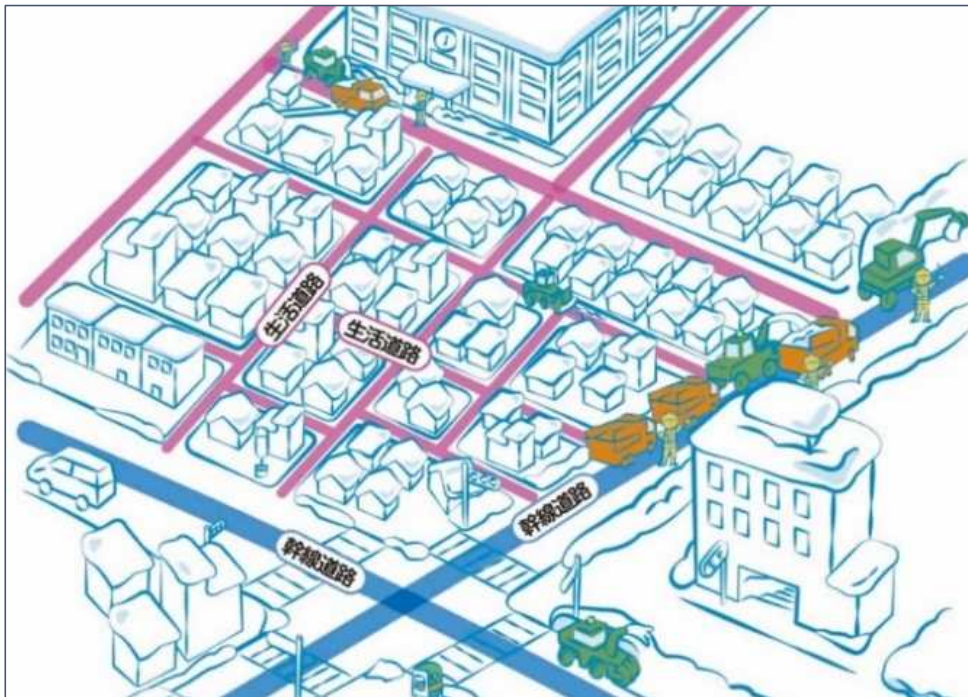
本日の説明内容

- 1 道路種別ごとの除排雪作業の実施状況
- 2 試験施工の背景・目的
- 3 現状の作業と検討中の作業内容
- 4 試験施工の作業手法など
- 5 今後の検討について

1 道路種別ごとの除排雪作業の実施状況

	道路の機能	除雪作業	排雪作業
幹線道路	地域間や主要な地点を結ぶ、交通量の多い道路	有り	有り
生活道路	各宅地へアクセスする道路	有り※	PS排雪制度等により協働で実施

※ 目安となる形態は道路幅員8 m以上10m未満。8 m未満のうち、機械除雪が可能な場合に実施
市道を対象とし、私道は対象外



生活道路と幹線道路



冬期間の生活道路の状況

2 試験施工の背景・目的

平成4年～【協働の取組】

生活道路の排雪を望む地域の声を受け、
パートナーシップ排雪制度を創設



30年以上経過…

状況の変化や課題

- ・ 昨今の在宅介護サービスや宅配などの普及により、地域住民以外の事業者も生活道路を通行するなど、生活道路の役割や冬期道路環境に対する市民ニーズは変化
- ・ パートナーシップ排雪制度を利用する地域の費用負担や不公平感は年々増大
- ・ 将来的に除雪従事者の担い手不足が見込まれ、現行の作業を継続することが難しくなる可能性

地域・行政・事業者の課題対応に向け

令和5年度～

生活道路除排雪の在り方検討に着手

「生活道路除排雪の試験施工」を実施し、除排雪作業の効率化
などに向けた検討の基礎資料を収集

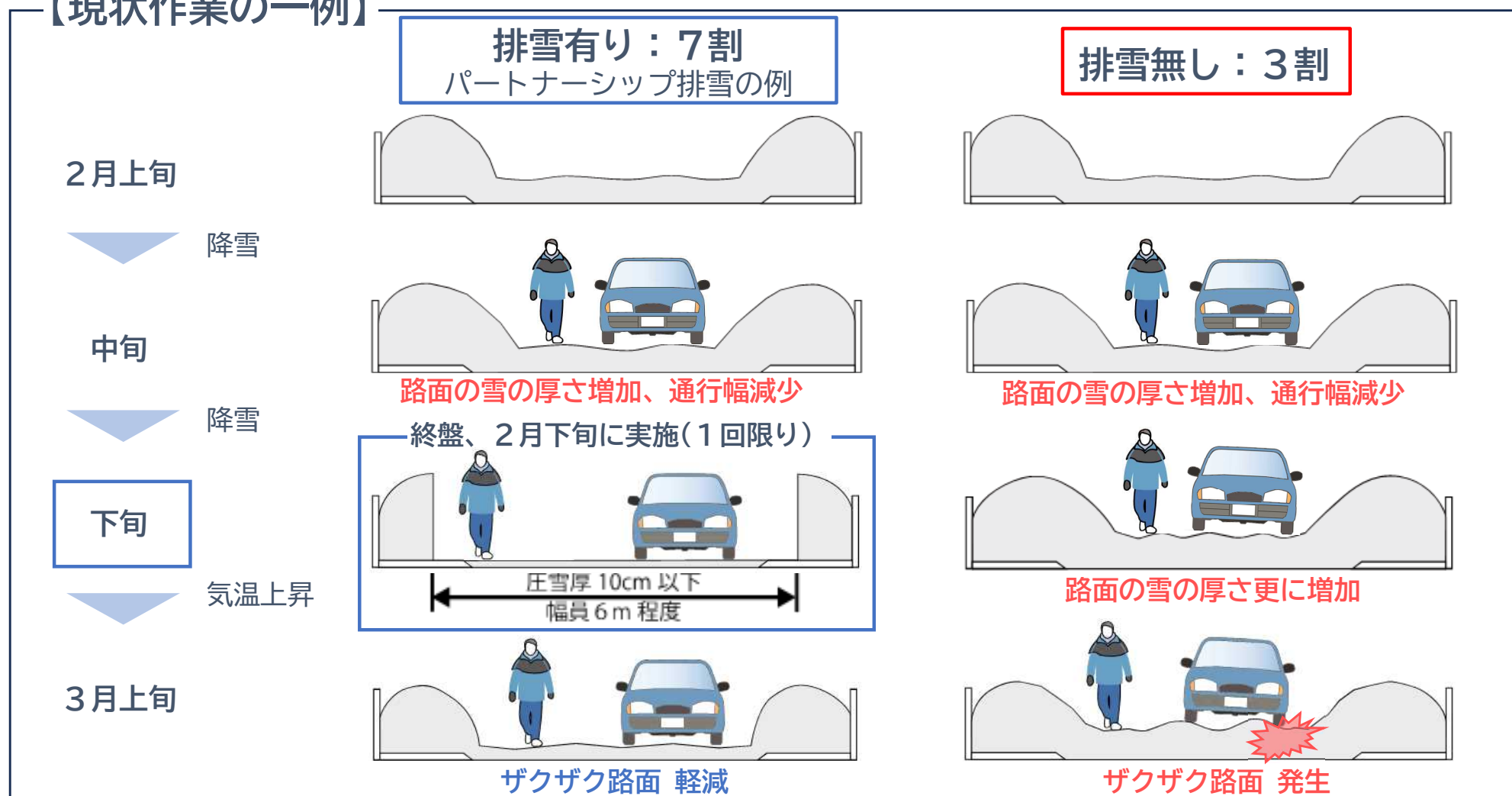
3 現状の作業と検討中の作業内容

現状の作業（パートナーシップ排雪有りや排雪無しの場合）

■パートナーシップ排雪

- ・降雪状況や道路状況などによらず、作業回数はシーズン1回限り
- ・2月のひと月に集中して順番に実施。2月下旬以降になる地域もある

【現状作業の一例】



3 現状の作業と検討中の作業内容

検討中の作業内容（生活道路除排雪の試験施工）

- 1 月上・中旬～3月上旬の期間に、降雪や道路状況などに応じた作業を実施
ザクザク路面の軽減など、シーズンを通した冬期道路環境の確保

【1 月上・中旬～2月下旬 に排雪する作業例】

排雪有り（R 6 試験施工）

例えば、1 月中旬に作業実施



- ・ 路面の雪の厚さを10cm 以下に低減
- ・ 歩行者1 名+車両1 台 + 除雪に備えた余裕幅

1 月中旬

下旬

2 月上旬

中旬

下旬

3 月上旬

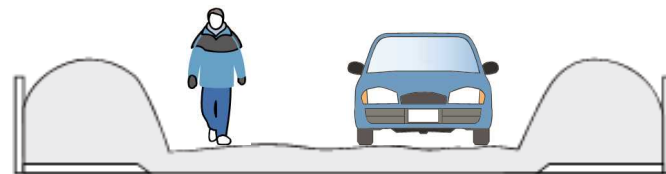
降雪が多い・路面状況が悪い

ザクザク路面 軽減

降雪が少ない・路面状況が良い



路面の雪の厚さ増加、通行幅減少



路面の雪の厚さ やや増加

3 月上旬に作業実施 ※



※ その後の降雪状況などにより作業を判断。2 回目の排雪作業を実施する場合も想定

4 試験施工の作業手法など（令和6年度試験施工：3区4地域）

除排雪作業の効率化に向けた手法の検証

削り出し路線：主に生活道路の路面の圧雪部分を削り出す作業を実施

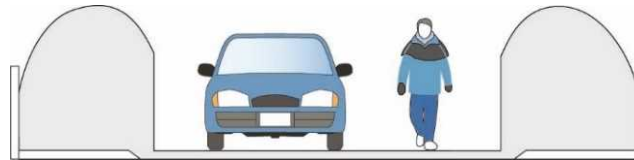
積込路線：削り出された雪の積込作業は広めの道路などで実施



タイヤショベル

【作業後イメージ】

削り出し路線



ダンプトラック+ロータリ(大型)

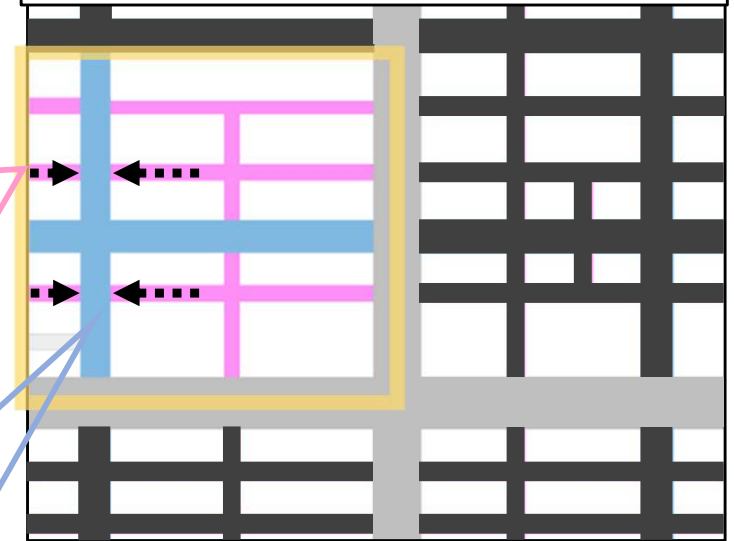
【作業後イメージ】

積込路線



作業時期などによって道路脇に雪を残す

削り出し路線と積込路線の分け



- ：試験施工の対象地域
- ：削り出し路線
- ：積込路線
- ：幹線道路・バス路線等

今後の除排雪作業手法として決定したものではありません
試験施工は一部地域(3区4地域)でのみ実施

4 試験施工の作業手法など（令和5年度試験施工：参考）

■作業動画1 ショベル複数台＋ロータリ(大型)



4 試験施工の作業手法など（令和5年度試験施工：参考）

■作業動画1 ショベル複数台+ロータリ(大型)



4 試験施工の作業手法など（令和5年度試験施工：参考）

■作業動画2 ショベル複数台＋バックホウ



4 試験施工の作業手法など（令和5年度試験施工：参考）

■作業動画2 ショベル複数台＋バックホウ



4 試験施工の作業手法など（令和6年度試験施工：3区4地域）

	町内会名	延長	令和5年度 PS排雪	作業期間（予定）
白石区	① 北郷北部町内会、 北郷瑞穂町内会（一部）	約7.2km	無	1月中～3月上
西区	② 二十四軒東第6町内会、 二十四軒第7町内会	約4.8km	無	1月上～3月上
	③ 西町中の川町内会	約5.2km	無	2月上～3月上
手稲区	④ 新発寒向陽町内会	約6.6km	有	1月下～3月上
3区	4地域	約23.8km		

※ 試験施工は①～④地域でのみ実施。その他の地域は例年通りの除排雪作業を実施

検証のポイント

- ・ 試験施工地域毎に様々な除排雪手法(除雪機械)により実施
- ・ 降雪状況等に応じて、排雪作業時期の前倒しなども想定
- ・ 1地域あたりの範囲を広げて実施（R6平均約6km > R5平均約3km）



- ・ 道路環境に応じた面的な作業計画や除雪機械の組合せによる効率化
- ・ ザクザク路面の軽減など、**シーズンを通した冬期道路環境の確認**

4 試験施工の作業手法など（令和6年度試験施工：3区4地域）



※ 作業状況の撮影などを希望される場合は、余裕を持って雪対策室
事業調整担当課までご連絡ください（電話：011-211-2682）

5 今後の検討について

今冬試験施工の結果の検証や今後の市民議論など、各種検討には期間を要することから、来年度(令和7年度)もパートナーシップ排雪等の排雪支援制度を継続しながら検討を進めます

※ パートナーシップ排雪制度等の廃止は決定事項ではございません
のでご注意ください

※ 来年度(令和7年度)の制度利用には申込が必要となります

※ 今年度(令和6年度)の申込期間は終了しています

